

日新  
 苟日新 苟に日に新たに  
 日日新 日々に新たに  
 又日新 又日に新たなり  
 出典 「大学」

# 日新

日新地区だより  
 11号



発行者：誇りと夢・まちづくり日新広報部会  
 発行日：2009年8月5日  
<http://www1.fctv.ne.jp/~nissin-k/>

## 日新地区総合防災訓練 (6/28)



一時避難所に避難  
 (堀ノ宮・西端公園)

資機材の利用訓練も  
 (上里・白山神社)



## 行事から思う

「日新地区総合防災訓練」報告によると当日の避難世帯数は726世帯で、地区総世帯の32%、起こってはならぬが万が一の有事の際には心配な数字だ。  
 また「一斉清掃」参加者は151名だったそうだが、こちらも総世帯に対してはいささか寂しい。  
 「自助」の精神の醸成にはまだまだ課題は大きい。

## 夏の一斉清掃 (7/12)



地区のみなさんの協力により  
 こんなにたくさんのごみを回収

## 「底喰川から観音様」

寛永年間(1624~44)のころ、底喰川にかかる権現橋の下から観音様が拾い上げられた。後、近くに牧島観音堂が建てられて福井藩の祈禱所になった。当時の福井藩資料・越前国地理便覧には、

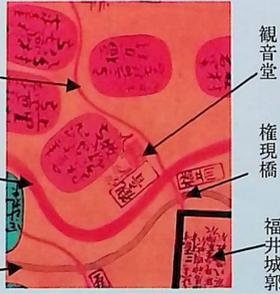
「十一面観音泰澄作一口観音ト云寛永年中底喰川権現橋ノ流ヨリ出現之由爰ニ安置ス何事ヲモ一ノ祈誓シヌレハ叶ハスト云事ナシ此故ニ一口観音ト云其比御宿願ノ事アリシニタチマチ御成就ノヨシナリ四十九年以前今ノ一字御建立有之シナリ」と。

「一字御建立」とあるのが牧島観音堂を建てたということ、三国街道沿いにあって賑わい、芝居や大曲馬も行われたようだ。現文京4に「観音垣内」「観音前」の小字名がある。

泰澄は白山山頂で十一面観音を感得したとされ、当時は仏像を造る活動がさかんで、この仏像が流れ着いたというので「権現出現ヨリ権現橋と云り」の資料もある。また橋は「長五間 幅一間 水五尺」の記も。

いつごろから「権現堂橋」に?  
 (福井県立図書館松平文庫参考)

越前国之図の部分図



田原橋すぐ下手の  
 権現堂橋

底喰川

吉田郡足羽郡  
 の境界

観音堂

権現橋

福井城郭

## この人に聞く



## 日新地区のなりたち(その1)

中川幾一郎さん(84) 文京5

春山小学校のマンモス化解消に、北部には明新小が昭和46年に開校したが充分ではない。そこで福井市通学区域審議会は48年4月、西部に新設校設置を決めた。49年3月福井市は土地区画が完了した上里地籍に小学校開設を計画。市議会が敷地取得を議決、市教委は開校準備に入った。50年4月には仮称「福井市上里小学校」の工事に着工。9月には「福井市日新小学校」と校名が決まり、51年4月晴れて開校の運びとなった。一方、乾徳・文里・ハツ島などの正副会長からなる有志は「六者会議」を設け、精力的に会合を重ねた。町内連合会の組織づくりや公民館建設についての話し合いなども行われ、こうして日新地区の礎が築かれていった。



昭和50年7月 日新小建設基礎工事



昭和51年4月 日新小開校

## 日新春秋

6月20日、まちづくりの会に参加して、久しぶりに「福井市市民憲章」をうたった。そこには新しく具体的な実践目標が記されていた。▼市民憲章は昭和39年6月28日(震災記念日)に制定されたもので、以降、まちづくりの目標と市民の心のよきところとなり、地域や学校、団体などで憲章に沿ったさまざまな活動が行われ、会合、式典の折には参加者一同唱和してこのねがいをうたぬことを誓い合った。が抽象的、のしも多々あった。▼本年は45年目の節目、推進協議会は実践目標を設定し、本年1月1日号・市政広報ぶくいで詳しく報じた。「すすんで親切をつくくりまじゅう」かなまらをつくりまじゅうの実践目標は、「あいさつはまず私から声かけよう」である。▼いつごろか、オアシス運動が展開された時期があった。「オ」は「おはよう」、「ア」は「ありがとう」、「シ」は「しつれいします」、「ス」は「すみません」である。ぎすぎすした人間関係をあいさつによって、砂漠のオアシスのように潤そうという狙いである。▼あいさつは年齢の上、下、社会的地位は関係ない。自分からあいさつしたからといって、自分が相手の下に立つわけではない。「おはよう」なんてお互いに分かっていることではないか? 無駄である、ところ無い弁もきく。▼住みよき日新のあいさつはまず私から声かけよう。半可通夫

文里地区 高橋家

宏夢（ひろむ 14歳）風妃（ふうき 10歳）岳渡（がくと 7歳）とおばあちゃん、父母の6人家族です。小学生の二人は今年文里祭りの太鼓で頑張りました。



堀ノ宮地区 佐野家  
高3の長男をかしらに、5男1女。末っ子も今年1年生になりました。やかましくなりましたが、よろしくお願ひします。



乾徳地区 西島家

福井に来て約10年。のんびりと静かな町が気に入ってます。長女は薙刀、長男はサッカー（将来はJリーガー?）次女も銃・剣道の練習に励んでいます。フランコ・サバラ・ロドルフォ 西島さおり



わがまち乾徳自治会

昭和51年（1976）4月、日新小学校の設置を機に誕生し、1～5区29自治会、本年は586世帯で構成され、事業所の少ない平穏な“乾の里”である。

春の例大祭は、県下三大祭のお神明さん氏子祭りに合わせて、乾徳ふれあい会館に本陣を設け、屋台（太鼓）、子供神輿の組造りの後、子供踊りなどが一体となり巡行披露、神社本神輿にはふれあい会の若手メンバーが力子として参上する。



夏はフェニックスまつりに協賛し、ふれあい会を中心にイベントを企画、各会員・団体の協力により賑やかな一夜の外せない行事である。今年は8月8日の予定で、のど自慢大会やピヤガーデンなど豪華賞品も用意され行われる。

また奉仕活動として、毎月第2日曜日に乾公園の清掃を行っている。意識は満更でもない。

乾徳自治会連合会長 佐藤孝義



「ブタがいた教室」上映会 6/17 日新小

午後の体育館で、全校児童のほか、保護者や地区の人たち30名が映画を鑑賞しました。この映画を通じて子どもたちに命の尊さを学んでもらおうとの願いから、青少年育成市民会議日新支部が企画しました。1年間みんなで飼育した「Pちゃん」を最終的に食肉センターへ送る決定をした場面では、涙をふきながら真剣に見入っていました。「いただきます!」と言わなければならないことがこの映画を見て伝わってきました。

（5年生の感想より）

池上校長先生も、子どもたちにとって「命の尊さ」を学ぶ良い機会になったのではないのでしょうか。との感想を寄せられました。



誇りと夢 わがまち創造事業

21年度事業実施計画書より

◆環境部会

- ① 8/22（土）底喰川ウオッチング支援
- ② 11/22（日）福井市治水記念館・清掃センター  
※毎月第4日曜日（8：00～9：00）底喰川清掃実施

◆文化部会

- ① 9/12（土）秋の七草鑑賞とお月見だんご作り
- ② 11/8（日）ふるさとの歴史探訪  
一乗谷朝倉遺跡へ館外研修

◆防犯部会

- ① 10/3（土）三世代合同パトロール
- ② 未定 防犯講習会（高齢者を対象に）

◆広報部会

- ① 8・12・3月 ゆめ・にっしん発行
- ② 9/17.18.27日 パソコン技術交流会  
福井市映像文化センター・メディア実習室  
ホームページ（ブログ）更新講習

☆各部会の事業に皆様ふるってご参加ください！！

トピックス

♪♪日新小学校合唱団結成♪♪

＝「なかよく」「たのしく」「すてきな」合唱団をめざして＝

今年度、日新小学校に合唱団が結成されました。（4～6年生、男子9名、女子20名。指導・竹内隆子教諭）校内や日新地区に歌の良さや楽しさを広めたいとの思いからだそうです。8月6日にはNHK全国合唱コンクール福井大会に出場し、課題曲『夢の太陽』、自由曲『わたしが呼吸するとき』を歌います。

当日「ステージに上って、子どもたちが充実できる」ように、「歌ってよかったと思える悔いのない演奏ができる」ように、夏休み中も7月21日から毎日午前中に練習するそうです。

顧問の竹内先生は「子どもの声が毎日変わる。一步一步前進している。」と一生懸命頑張っているようすを語ってくださいました。



【編集後記】 新年度新メンバーでの第1号の発行ということで、ふる里日新を過去・現在・未来から眺めた紙面になりました。愛郷心故に意見がぶつかる日もありますが、貴重な情報をお伝えする使命感に燃えて編集しました。